

令和4年度

上半期事業報告書

社会福祉法人

京丹波町社会福祉協議会

目 次

社会福祉協議会運営基盤の強化	3
在宅福祉推進事業	6
高齢者福祉事業	8
障害者福祉事業	17
児童福祉事業	23
地域福祉推進事業	24
ボランティア振興事業	27
厚生福祉事業	28
福祉関係組織活動支援	31
災害支援活動と災害ボランティアセンター活動	31

令和4年度上半期事業実績報告

社会福祉協議会運営基盤の強化

1 会員増強運動

(1) 会員増強運動

令和4年9月30日現在

会員種別	丹波	瑞穂	和知	町外	合計	備考
一般会員	1,377,000	1,219,000	1,024,500	4,000	3,624,500	成人者：1,000円
特別会員	0	10,000	0	0	10,000	会社・事業所等：5,000円
賛助会員	0	0	0	0	0	福祉施設・団体等：3,000円

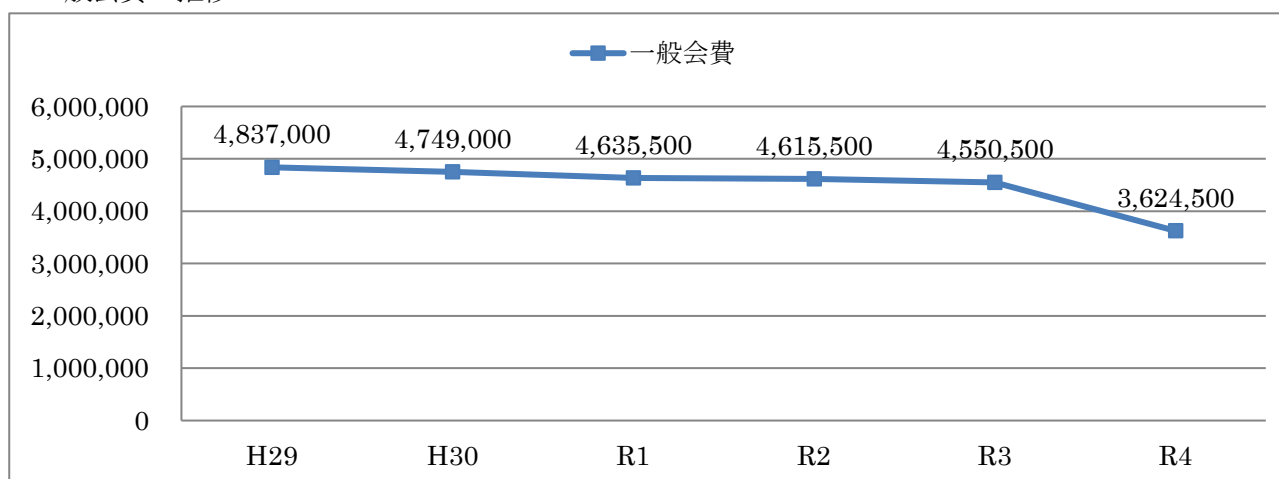
※特別会員、賛助会員は10月以降に願います。

一般会費地区ごとの内訳（各年度9月末時点での数値）

		H29	H30	R元	R2	R3	R4
丹波	会費	1,877,000	1,814,000	1,804,000	1,784,000	1,751,000	1,377,000
	成人数	6,236	6,123	6,037	5,934	5,845	5,898
	加入率	30.1%	29.6%	29.9%	30.1%	30.0%	23.3%
瑞穂	会費	1,602,000	1,583,000	1,502,000	1,527,000	1,519,000	1,223,000
	成人数	3,763	3,664	3,613	3,576	3,502	3,455
	加入率	42.6%	43.2%	41.6%	42.7%	43.3%	35.4%
和知	会費	1,358,000	1,352,000	1,329,500	1,304,500	1,280,500	1,024,500
	成人数	2,689	2,651	2,586	2,508	2,443	2,404
	加入率	50.5%	51.0%	51.4%	52.0%	52.4%	42.6%
全域	会費	4,837,000	4,749,000	4,635,500	4,615,500	4,550,500	3,624,500
	成人数	12,688	12,438	12,236	12,018	11,794	11,757
	加入率	38.1%	38.2%	37.9%	38.4%	38.6%	30.8%

※町外（4,000円）分は、全て町外在住の本会職員であるため、法人本部の瑞穂へ含める

一般会費の推移



【成果・課題】

- ・一般会員については、5年ごとの会員カードが切り替えとなったことを機に案内方法を変更した。
- ・これまでの課題を解消するための変更であったが、変更したことで社協の会費案内と伝わらなかったのか、全体的に会員の減少となった。今後も検証していく。

(2) ご寄付を広くお受けできるように

①自動販売機による寄付の取組 (寄付実績)

	ウッディパルわち	道の駅丹波マーケス	道の駅さらびきの里	計
合計	5,370円	20,655円	※R4.9月より設置	26,025円



道の駅さらびきの里 (グリーンランドみずほ株式会社) に新たに設置された寄付つき自動販売機

2 法人運営

●会 務

(1) 理事・監事会・・・3回

開催年月日	協 議 内 容
R4.5.11	京丹波町社協評議員選任・解任委員の選任及び解任について 令和4年度第1回評議員会の開催について 財政調整積立金の取崩しについて
R4.6.3	令和4年度補正予算 (案) について 異動に伴う評議員候補者 (案) について 令和3年度京丹波町社協事業報告 (案) について 令和3年度京丹波町社協資金収支予算 (案) について 京丹波町社協正職員給与規程の一部改正 (案) について 京丹波町社協嘱託職員給与規程の一部改正 (案) について 京丹波町財政改善委員会の設置 (案) について
R4.9.27	令和4年度第2次補正予算 (案) について 京丹波町社協正職員就業規則の一部改正 (案) について 京丹波町社協正職員給与規程の一部改正 (案) について 京丹波町社協嘱託職員就業規則の一部改正 (案) について 京丹波町社協嘱託職員給与規程の一部改正 (案) について 京丹波町社協登録ヘルパー就業規則の一部改正 (案) について 京丹波町社協登録ヘルパー給与規程の一部改正 (案) について 京丹波町社協非常勤、パートタイマー就業規則の一部改正 (案) について 京丹波町社協非常勤、パートタイマー給与規程の一部改正 (案) について 令和4年度第2回評議員会の開催について

(2) 監査会・・・1回

開催年月日	協 議 内 容
R4.5.25	令和3年度事業及び収支決算についての監査

(3) 評議員会・・・1回

開催年月日	協議内容
R4. 6. 21	異動に伴う京丹波町社協理事の承認について 財政調整積立金取崩しの承認について 令和4年度京丹波町社協補正予算(案)について 令和3年度京丹波町社協事業報告(案)の承認について 令和3年度京丹波町社協資金収支決算(案)の承認について

(4) 三役・管理職会議・・・5回

開催年月日	協議内容
R4. 5. 6	財政調整積立金取崩、本年度職員体制と職員募集、監事会、理事会、評議員会、各課からの報告、他
R4. 6. 15	財政改善、人事考課制度、夏季休暇、各課からの報告、他
R4. 7. 12	職員からの要望、財政改善、コロナ感染予防、各課からの報告、他
R4. 8. 8	コロナ感染予防、職員からの要望、財政改善委員会、各課からの報告、他
R4. 9. 8	最低賃金、グループホーム、コロナ感染予防、労務、財政改善委員会、理事会、評議員会、各課からの報告、他

(5) 各種運営委員会

委員会名	丹波	瑞穂	和知	合計
心配ごと相談所運営委員会		0		0
福祉資金貸付委員会	0	1	0	1
ボランティアバンク運営委員会		1		1
財政改善委員会		第1回：6/27(月) 財政状況分析、改善に向けた方向性・視点、等 第2回：8/25(木) 課題分析、報酬・手当、今後の進め方、等 ※年度内に5回開催予定		2

(6) 管理職(課長)会議・・・7回

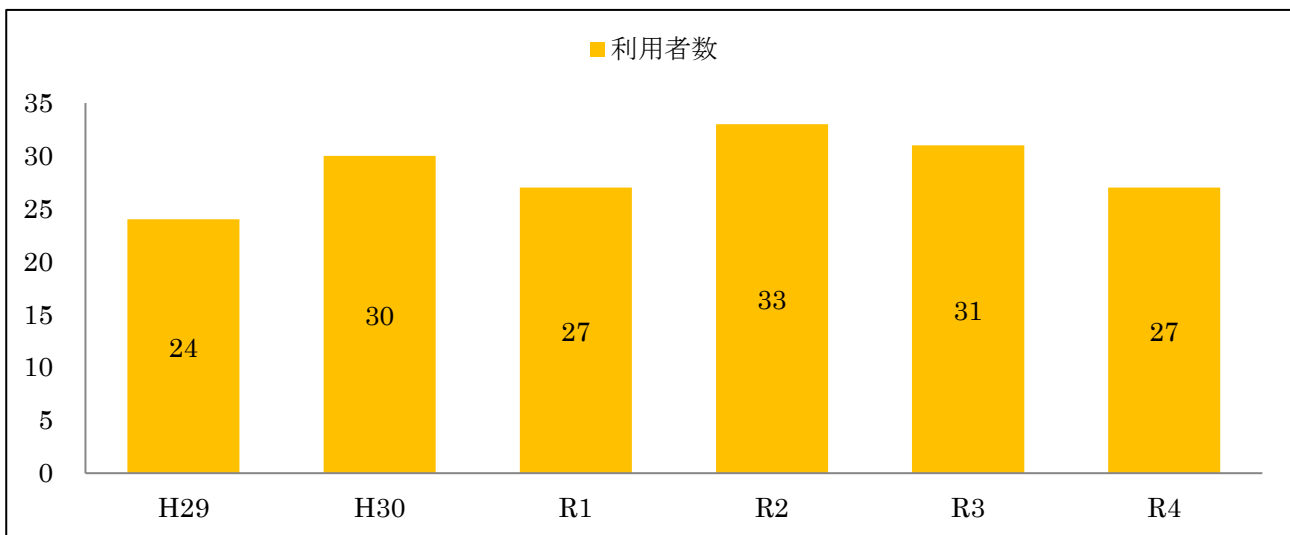
開催年月日	協議内容
R4. 4. 14	財政について、人事考課制度、職員募集と今後の体制、今後の予定、各課からの報告、他
RR4. 5. 12	財政調整積立金取崩、人事考課制度、小学校等休業対応助成金、各課からの報告、他
R4. 6. 9	財政改善、人事考課制度、夏季休暇、各課からの報告、他
R3. 6. 3	人事評価制度、職員募集、各課からの報告、他
R4. 7. 11	職員からの要望、財政改善委員会、コロナ感染予防、各課からの報告、他
R4. 8. 2	コロナ感染予防、職員からの要望、財政改善委員会、小学校等休業対応助成金、各課からの報告、他
R4. 9. 6	最低賃金、グループホーム、財政改善、面談者研修、労務、各課からの報告、他

【在宅福祉推進事業】

1 福祉サービス利用援助事業

■契約・支援等の件数・・・令和4年9月30日現在

	3年度9月末契約件数					解約件数	新規件数	保留件数	現 支 援 件 数					生活保護 受給者数	相談継続 件 数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計				認知症	知的障害	精神障害	その他	計		
丹波地域	7	1	4	2	14	5	3	2	5	1	4	2	12	8	2
瑞穂地域	4	1	3	3	11	4	1	2	2	1	1	4	8	2	2
和知地域	3	0	2	1	6	1	2	0	3	1	1	2	7	0	0
合 計	14	2	9	6	31	10	6	4	10	3	6	8	27	10	4



■支援内容

支 援 内 容	丹波	瑞穂	和知	合計	備 考
○福祉サービス利用援助	12	8	7	27	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的金銭管理	12	8	7	27	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・印鑑の預かり	12	8	5	25	通帳・印鑑の管理
○書類等の預かりサービス	1	3	1	5	健康保険証等重要書類の預かり

【成果・課題】

- ・亡くなられた方や施設入所による解約が多くなり、現在の支援件数は昨年に比べ4件減の27件となった。新規契約として準備をしているケースは4件ある。
- ・解約となったケースは、6件が死亡解約、4件が高齢者施設入所だった。
- ・本事業では日常的な金銭管理（生活費のお渡しや公共料金の支払い）を行い、自身では金銭管理が上手くでき難い利用者の生活を支えている。また、税滞納や水道料金等の公共料金の未払いにも分納などの交渉を代わりにを行い、その支払いを進めている。

2 住民寄り添い型助け合い活動かがやき

世帯状況の変化に伴い生活上の困りごとを誰にも相談できず、地域の中で孤立する高齢者や障害者が増えている。また、介護保険法の改正に伴い、介護予防・生活支援の充実等が求められている中、住民の主体的な参加と協力によりお互いさまの気持で助け合う活動の推進を行う。

■実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
かがやき (件数)	5	5	5	5	4	3	27
総合事業 (件数) ※訪問型サービスA	21	19	24	25	22	24	135
新規利用者数 (人)	0	0	1	2	0	0	3

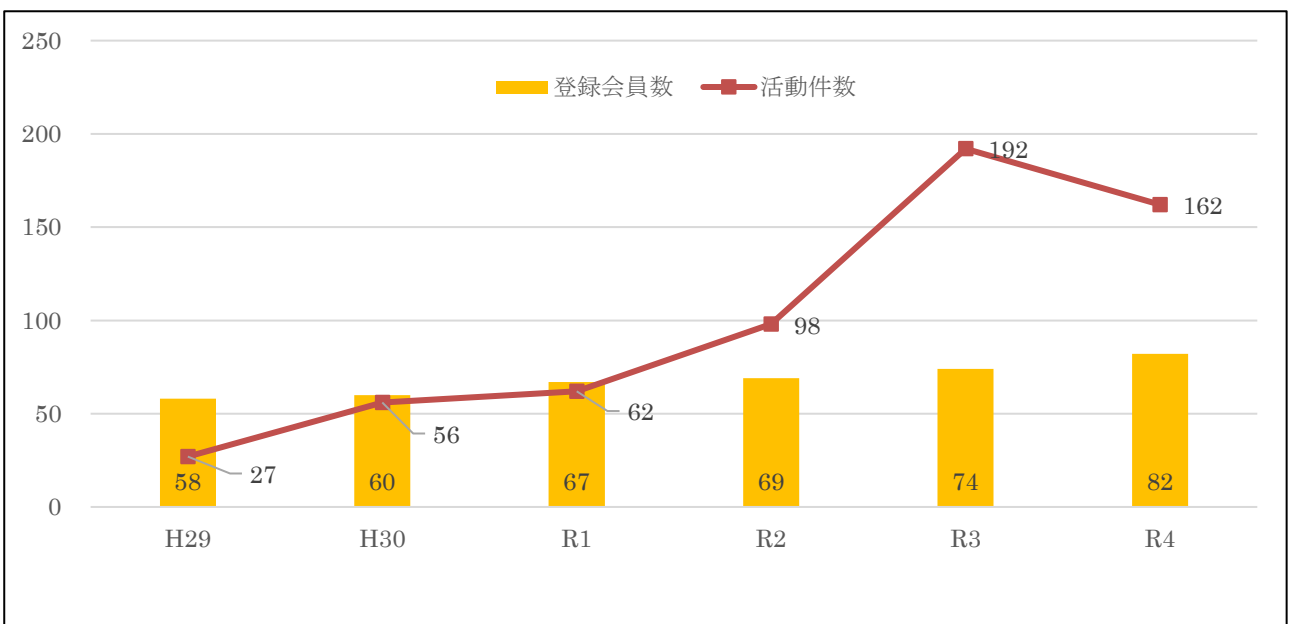
■主な依頼内容

依頼内容	件数	依頼内容	件数
掃除	6	衣替え・衣類整理	2
家具移動	1	ごみ分別・ゴミ捨て	18
		調理・掃除 (総合事業)	135

■登録活動者数

(令和4年9月30日現在)

82名 (男性 20名、女性16名)



【成果・課題】

- ・定期的に活動に入ることにより、利用者と活動者に信頼関係ができ、普段の生活の中での見守りにつながっている。
- ・訪問型サービスAの利用者が今後も増えることが考えられるので、定期的な活動も可能な活動者の協力が必要。

(注1) 訪問型サービスA事業とは

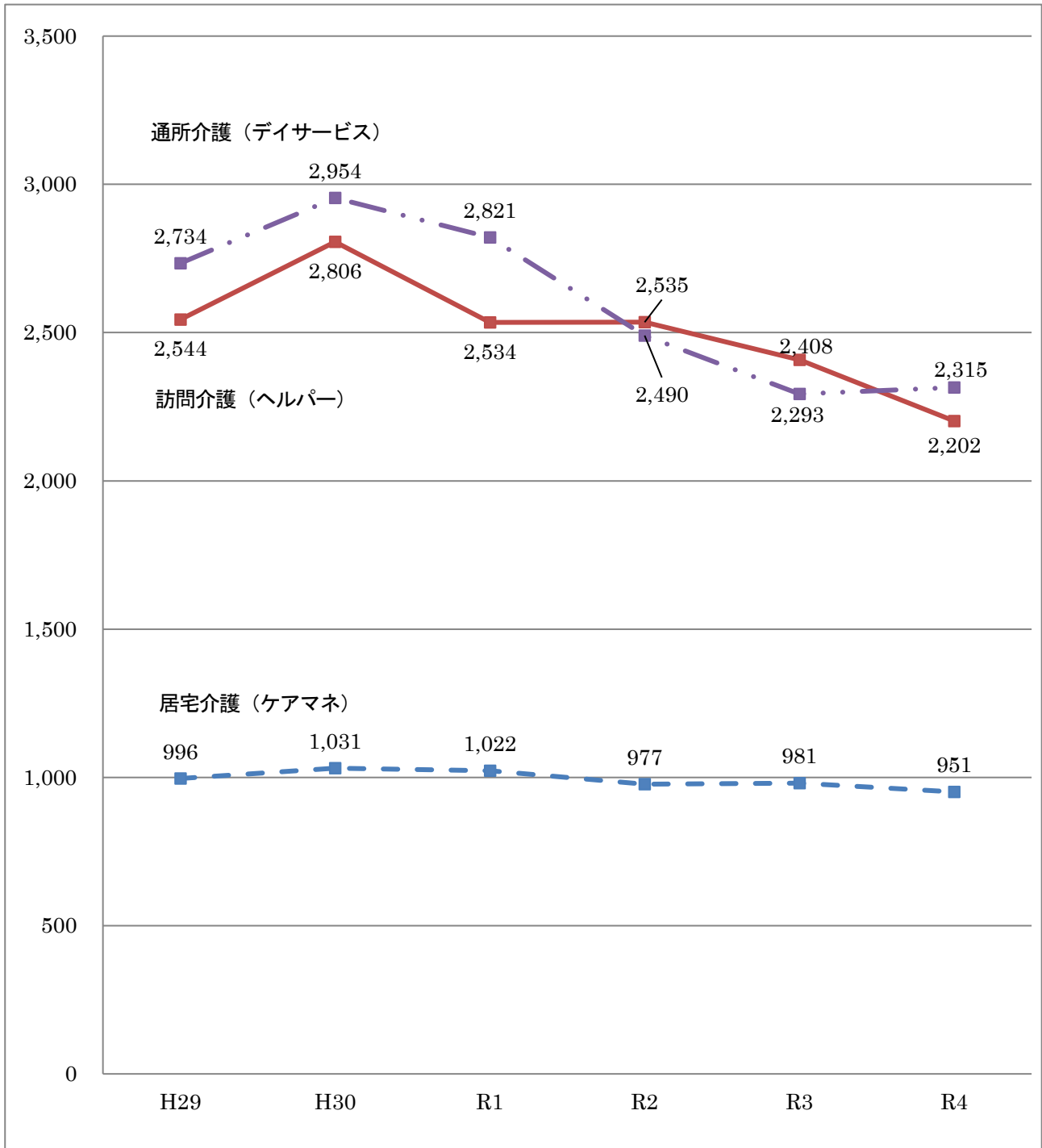
緩和した基準によるサービス提供で、掃除、調理、買物などの生活援助を、研修を受けた住民が有償ボランティア活動として行う。

身体的な介助は行わないため、専門職のサービス提供を必要としない。

【高齢者福祉事業】

1 介護保険事業

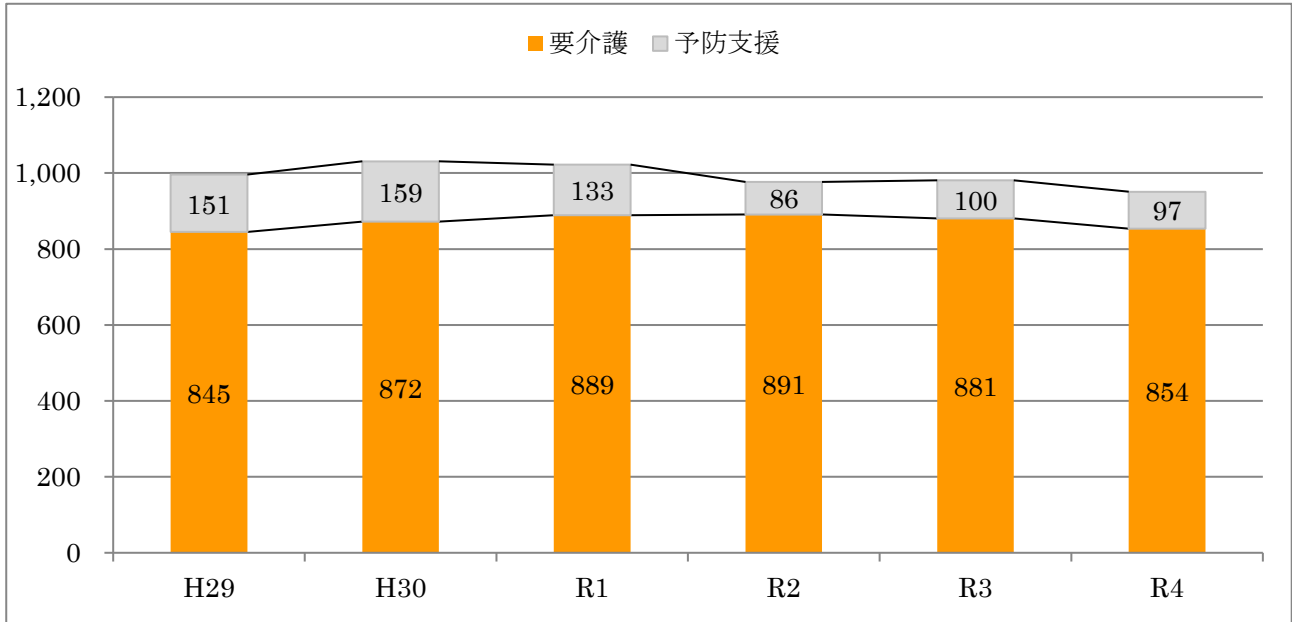
※利用状況の推移（単位：提供回数）



(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

職 種 名	計	備 考
管 理 責 任 者	1	
ケアマネジャー	5	1名管理責任者兼務

■延べ利用者数の推移 (単位：人)



■介護予防支援事業の実績 (事業対象者・要支援1・2の利用状況実績)

単位：人

延べ利用者数	要支援1	要支援2	総合事業	合 計
4年度	6	97	24	97
3年度	1	78	21	100
2年度	6	62	18	86
前年度比較 (%)	600.0	124.3	114.2	97
2年度比較 (%)	100.0	156.4	133.3	112.7

■居宅介護支援事業の実績 (介護1～5までの利用状況実績)

単位：人

延べ利用者数	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
4年度	206	363	179	91	15	854
3年度	223	374	154	93	37	881
2年度	247	370	177	72	25	891
前年度比	92.3	97.0	116.2	97.8	40.5	96.9
2年度比較	84.7	98.1	101.1	126.3	60	95.8

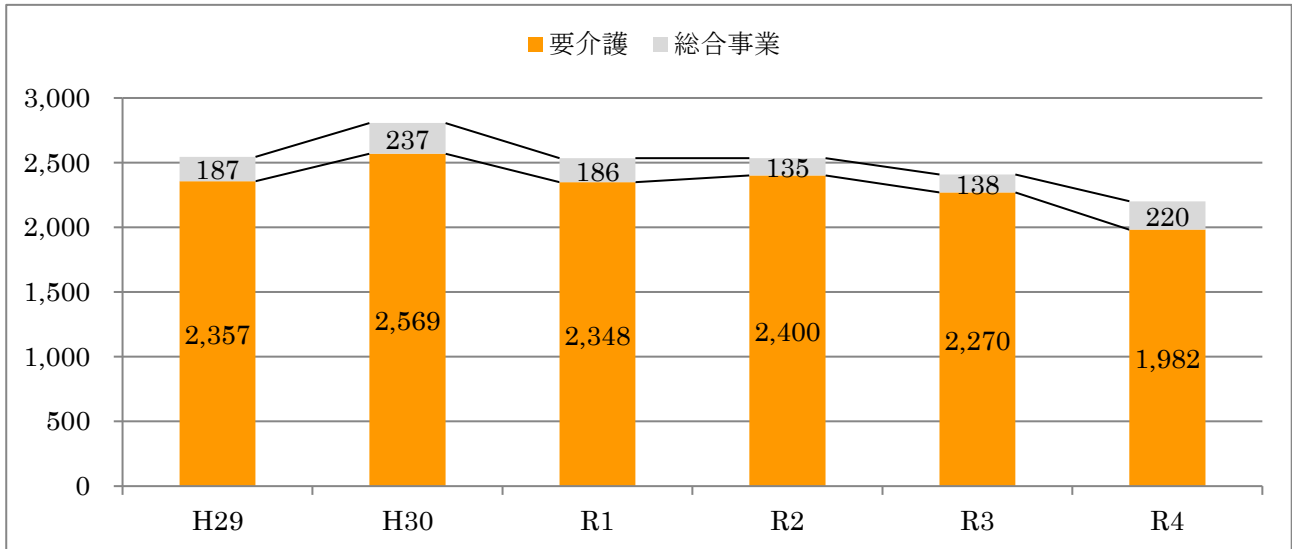
【成果・課題】

- ・職員体制1名減による5名体制で業務に従事したが、前任者から引継いだ利用者を問題なく支援できた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、ケアプランの変更や追加などが余儀なくされたが、利用者のADL低下には影響なく支援することが出来た。
- ・ケアマネジャーとしてインフォーマルサービスの開拓やケアプランへの位置づけを勉強して行く必要がある。

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援活動

職種名	計	備考
管理責任者	1	
サービス提供責任者	2	常勤ヘルパーが兼務
常勤ホームヘルパー	2	
登録ホームヘルパー	12	

■延べ利用者数の推移 (単位：人)



■総合事業の実績 (事業対象者・要支援1・2の利用状況実績)

延べ利用者数 (人)	要支援1	要支援2	総合事業	合計
4年度	6	20	11	37
3年度	0	17	12	29
2年度	0	12	19	31
前年度比較 (%)	-	117.6	91.7	127.6
2年度比較 (%)	-	166.7	57.9	119.4
延べ提供回数 (回)	要支援1	要支援2	総合事業	合計
4年度	24	119	77	220
3年度	0	96	42	138
2年度	0	65	70	135
前年度比較 (%)	-	124.0	183.3	159.4
2年度比較 (%)	-	183.1	110.0	163.0

■訪問介護事業の実績 (介護1～5の利用状況実績)

延べ利用者数 (人)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	107	100	53	20	6	286
3年度	112	87	48	27	6	280
2年度	77	108	48	19	7	259
前年度比較 (%)	95.5	114.9	110.4	74.1	100.0	102.1
3年度比較 (%)	139.0	92.6	110.4	105.3	85.7	110.4
延べ提供回数 (回)	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	576	715	361	268	62	1,982

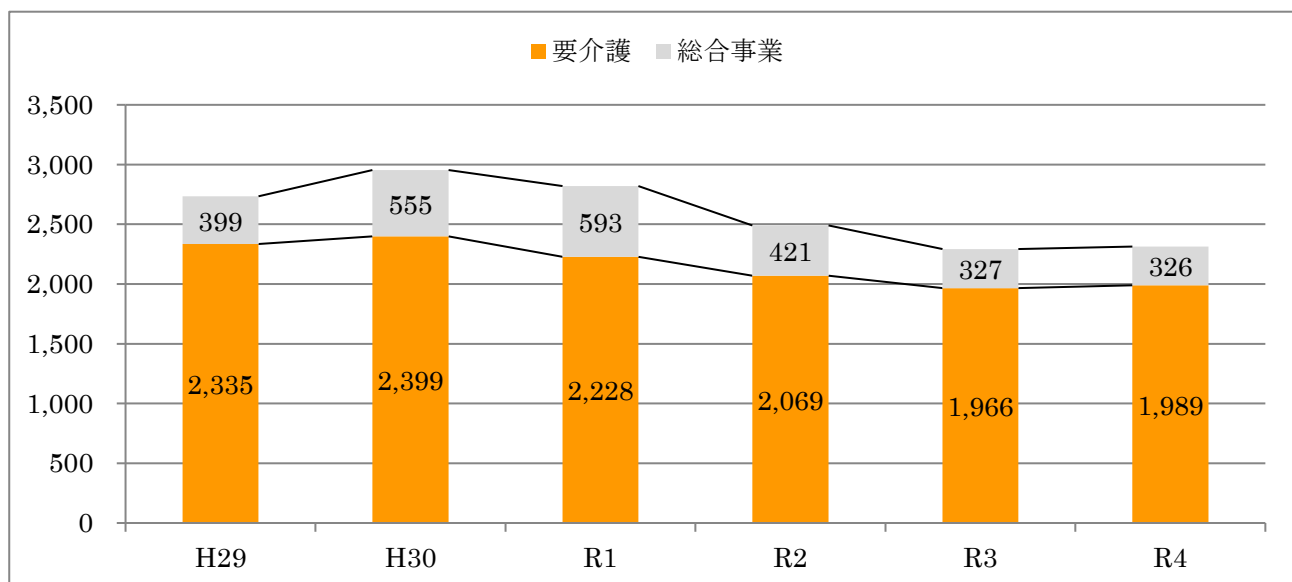
3年度	724	723	394	351	78	2,270
2年度	485	791	747	302	75	2,400
前年度比較 (%)	79.6	98.9	91.6	76.4	79.5	87.3
2年度比較 (%)	118.8	90.4	48.3	88.7	82.7	82.6

【成果・課題】

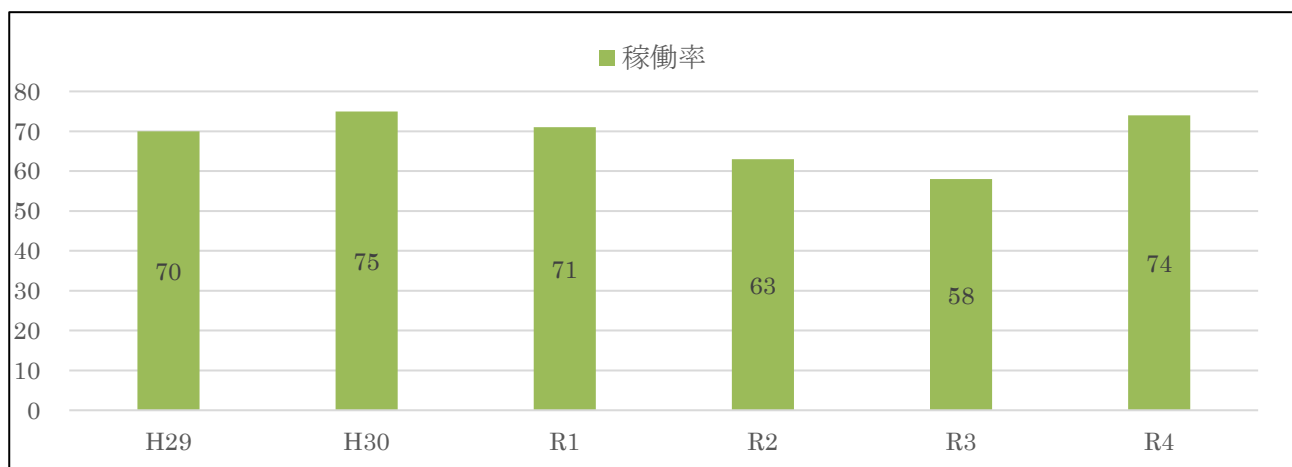
- ・総合事業の利用においては、介護保険事業から総合事業への移行等により昨年と比較して利用者数と提供回数が増加している。
- ・提供回数については、頻回訪問していた利用者が入院や短期入所等で減少したが、新規利用者を受け入れたため利用者数としては増加している。
- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、手指消毒・うがい等の励行を行っている。万が一、発熱症状等があれば、マニュアルに基づいた対応を行い家族や相談支援専門員と連携を図りサービス提供を行った。

(3) 地域密着型通所介護事業・・・デイサービスセンターで、入浴・余暇活動等を提供

■延べ利用者数の推移 (単位：人)



■稼働率の推移 (単位：%)



※令和3年10月より地域密着型に移行し、一日の定員を25名から18名に変更したため稼働率で比較
稼働率 = 延べ利用者数 ÷ (営業日数 × 1日の定員)

■総合事業の実績（事業対象者、支援1・2）の利用状況実績

延べ利用者数（人）		述べ提供回数（回）	
4年度	59	4年度	326
3年度	52	3年度	327
2年度	69	2年度	421
前年度比較（％）	113.5	前年度比較（％）	99.7
2年度比較（％）	85.5	2年度比較（％）	77.4

■通所介護事業の実績（介護1～5の利用状況実績）

延べ利用者数（人）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	87	64	61	29	16	257
3年度	55	95	50	15	23	238
2年度	35	84	59	17	29	224
前年度比較（％）	158.2	67.4	122.0	193.3	69.6	108.8
2年度比較（％）	248.6	76.2	103.4	170.6	55.2	114.7
延べ提供回数（回）	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4年度	625	438	467	227	232	1,989
3年度	370	625	440	171	360	1,966
2年度	298	638	565	127	441	2,069
前年度比較（％）	168.9	70.1	106.1	132.7	64.4	101.2
2年度比較（％）	209.7	68.7	82.7	178.7	52.6	96.1

【成果・課題】

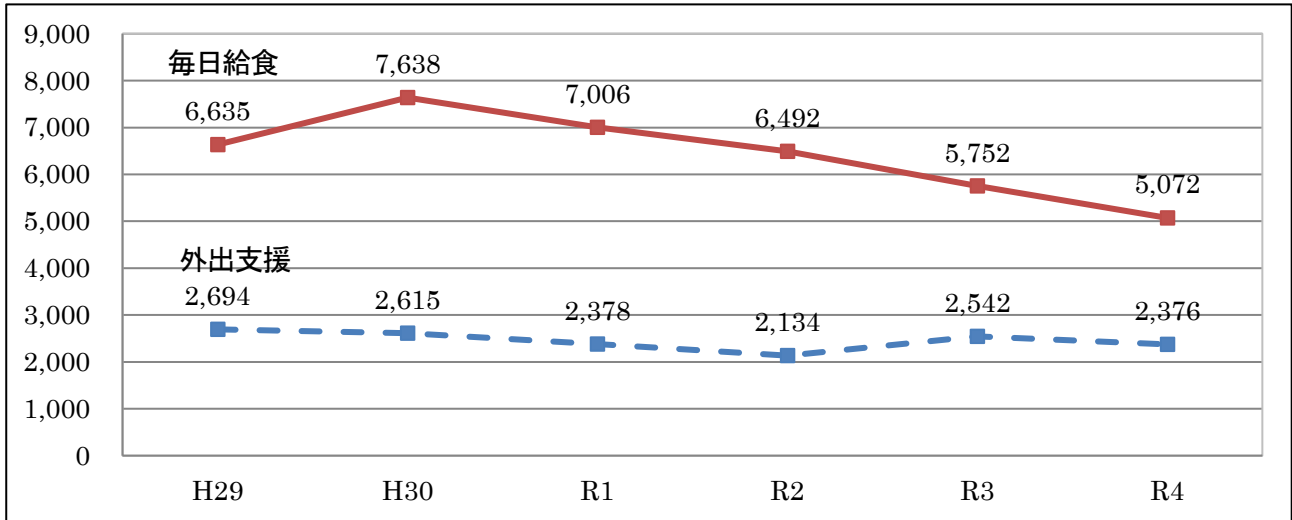
- ・長期化するコロナ禍ではあるが、職員及び利用者・ご家族等の協力により、休止することなく営業することができた。引き続き感染予防に努めたい。
- ・利用者の重度化に伴い、当日の体調不良や短期入所の長期化などでキャンセルがあり提供回数が不安定となる傾向にある。
- ・瑞穂地区の通所介護事業所数や高齢者人口などを鑑みると利用者数の減少傾向は継続するため、運営の安定化の面で課題となっている。

2 高齢者生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

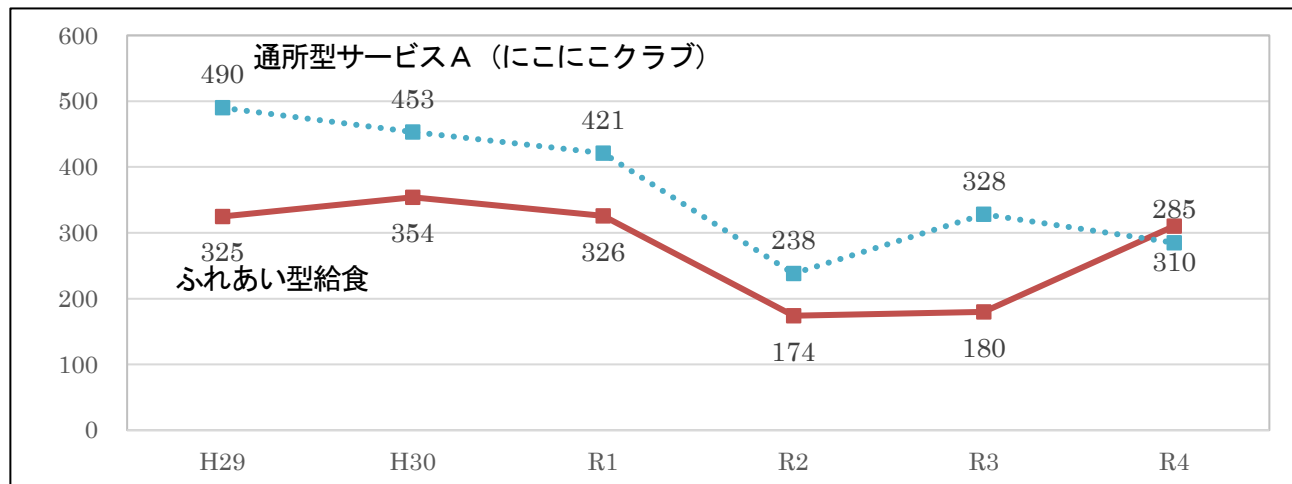
・毎日給食（延べ配食数合計、単位：食）

・外出支援（延べ提供回数合計、単位：回）



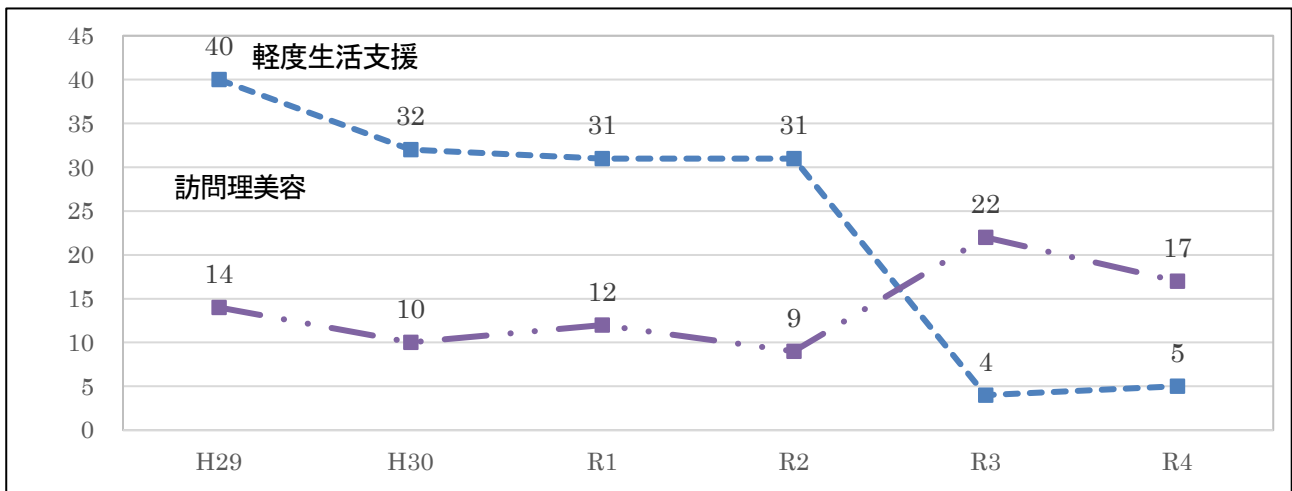
・通所型サービス A（延べ提供回数合計、単位：回）

・ふれあい型給食（延べ配食数合計、単位：食）



・軽度生活支援（延べ提供回数合計、単位：回）

・訪問理美容（延べ提供回数合計、単位：回）



(1) 軽度生活支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者で、一人ぐらし高齢者・高齢者世帯等、日常生活上の援助が必要な方
- 内 容：掃除、洗濯、調理、他軽易な日常生活上の援助
- 提供者：ホームヘルパー

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	0	5	0	5
3年度	0	4	0	4
2年度	6	4	0	10
前年度比較 (%)	-	125.0	-	125.0
2年度比較 (%)	-	125.0	-	50.0
延べ提供回数 (回)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	0	5	0	5
3年度	0	4	0	4
2年度	27	4	0	31
前年度比較 (%)	-	125.0	-	125.0
2年度比較 (%)	-	125.0	-	16.1

【成果・課題】

- ・昨年とほぼ変わらない状況で、活動内容はゴミ出し支援が中心となっている。

(2) 外出支援事業

- 対象者：概ね65歳以上の高齢者、または概ね60歳以上の高齢者であって下肢が不自由な方、障害者手帳を所持されている方で一般の交通機関の利用が困難な方
- 内 容：自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物等の送迎
- 提供者：運転手、ホームヘルパー

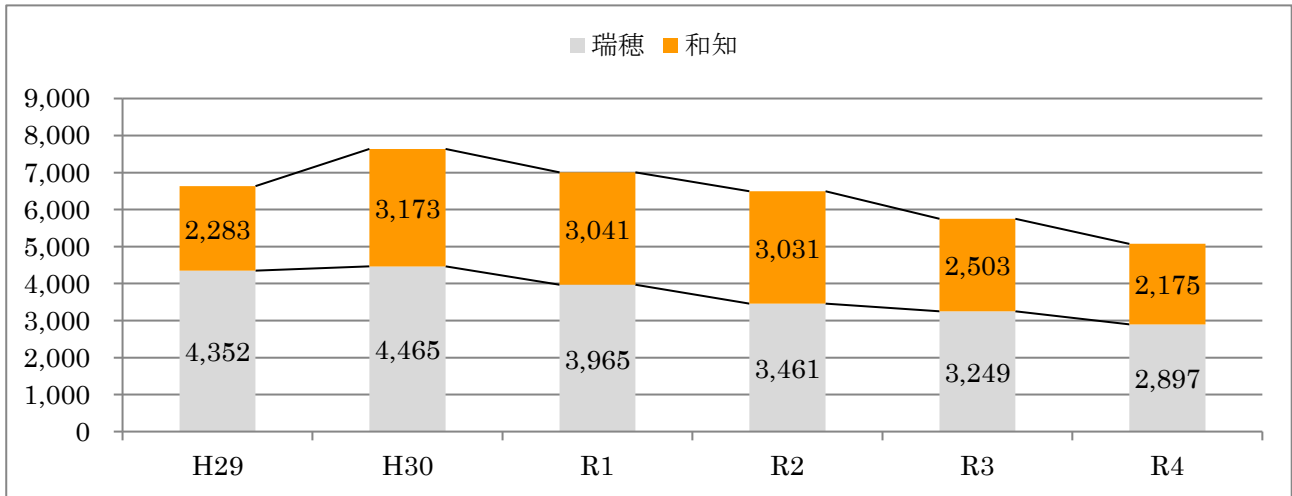
延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	448	283	248	1,702
3年度	592	295	218	1,105
2年度	270	230	129	629
前年度比較 (%)	75.7	95.9	113.8	154.0
2年度比較 (%)	165.9	123.0	192.2	270.6
延べ提供回数 (回)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	1,053	849	474	2,376
3年度	1,222	898	422	2,542
2年度	1,115	617	402	2,134
前年度比較 (%)	86.2	95.1	112.3	93.5
2年度比較 (%)	94.4	137.6	117.9	111.3

【成果・課題】

- ・曜日や時間帯が重なり、車両の配車や運転手の配置に苦慮することがある。
- ・夏ごろから新規利用者が増え、白内障の手術時の送迎だけなど限定的な利用もあった。また2ヶ月に1回の受診による利用も増えているため、月によって送迎が多い月など偏りも見られる。
- ・急な依頼もあり、他事業所とも協力体制を組むことで何とか対応することが出来た。

(3) - 1 食の自立支援事業（毎日給食）

- 対象者：調理が困難な一人暮らし高齢者
- 内 容：栄養バランスのとれた夕食弁当の宅配
- 利用料：1食 500円



延べ利用者数（人）	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	173	141	314
3年度	206	144	350
2年度	210	180	390
前年度比較（%）	83.9	97.9	89.7
2年度比較（%）	82.4	78.3	80.5
延べ提供回数（回）	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	2,897	2,175	5,072
3年度	3,249	2,503	5,752
2年度	3,461	3,031	6,492
前年度比較（%）	89.2	86.9	88.2
2年度比較（%）	83.7	71.8	78.1

【成果・課題】

- ・配食時にはマスクの着用、消毒液の持参等で感染予防に努めた。
- ・夏場の気温の上昇に合わせ、運搬ケース用と個別ケース用の保冷剤を準備し食中毒予防に努めた。
- ・一人暮らしの高齢者も多く、配食による安否確認を行い、不在や応答がない場合は事務所に連絡を取り、家族や民生委員・ケアマネ等と連携することで安否の再確認が出来た。

(3) - 2 食の自立支援事業（ふれあい型給食サービス）

- 対象者：一人暮らし高齢者・高齢者世帯等
- 内 容：調理・配食ボランティアによる月2回実施の「かけはし弁当」
- 利用料：1食 400円
- 実利用者数： 名（令和3年9月30日現在）

	配食数（食）	調理ボラ数（人）	配食ボラ数（人）
4年度	310	42	97
3年度	180	21	56
2年度	174	22	64
前年度比較（%）	172.2	200.0	173.2

※食中毒予防のため、8～9月は活動無し。

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルス感染症による休止は無かった。
- ・利用者数は新規利用者と利用を辞退される方を合わせ横ばい。
- ・配食給食に添える帯絵、色塗り、名前書き等多くの方に協力いただいている。高齢により活動を辞められる方もあり、新規協力者の呼びかけを行っていく。

(4) 訪問理美容事業

- 対象者：理美容院に出向くことが困難な高齢者等
- 内 容：社協に登録された理美容師が訪問し理美容を行う
- 利用料：1回 1,000円

延べ利用者数 (人)	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
4年度	5	4	8	17
3年度	6	7	9	22
2年度	2	5	2	9
前年度比較 (%)	83.3	57.1	88.9	77.3
2年度比較 (%)	250.0	80.0	400.0	188.9

【成果・課題】

- ・和知地区は新規利用者が増えて、利用回数も増加してきている。瑞穂・丹波地区で新規利用者はあるが利用回数は増えていない。

(5) 通所型サービスA事業（にこにこクラブ）

- 対象者：要支援または介護認定以外の高齢者を対象とする。
- 内 容：4班体制で、月2回、健康観察とレクリエーションを中心にして、引きこもりの予防やコミュニケーション（出会い）を大切にした活動を実施
- 指導者：支援スタッフ…6名、看護師…1名、合計7名
- 会 場：主会場は、和知高齢者コミュニティセンター

月	開 催 日	参加者数
4月	19日、21日	31
5月	17日、19日	35
6月	7日、9日、21日、23日	63
7月	5日、7日、19日、21日	61
8月	23日、25日	34
9月	6日、8日、20日、22日	61
合 計		285
3年度実績		328
前年度比 (%)		88.2

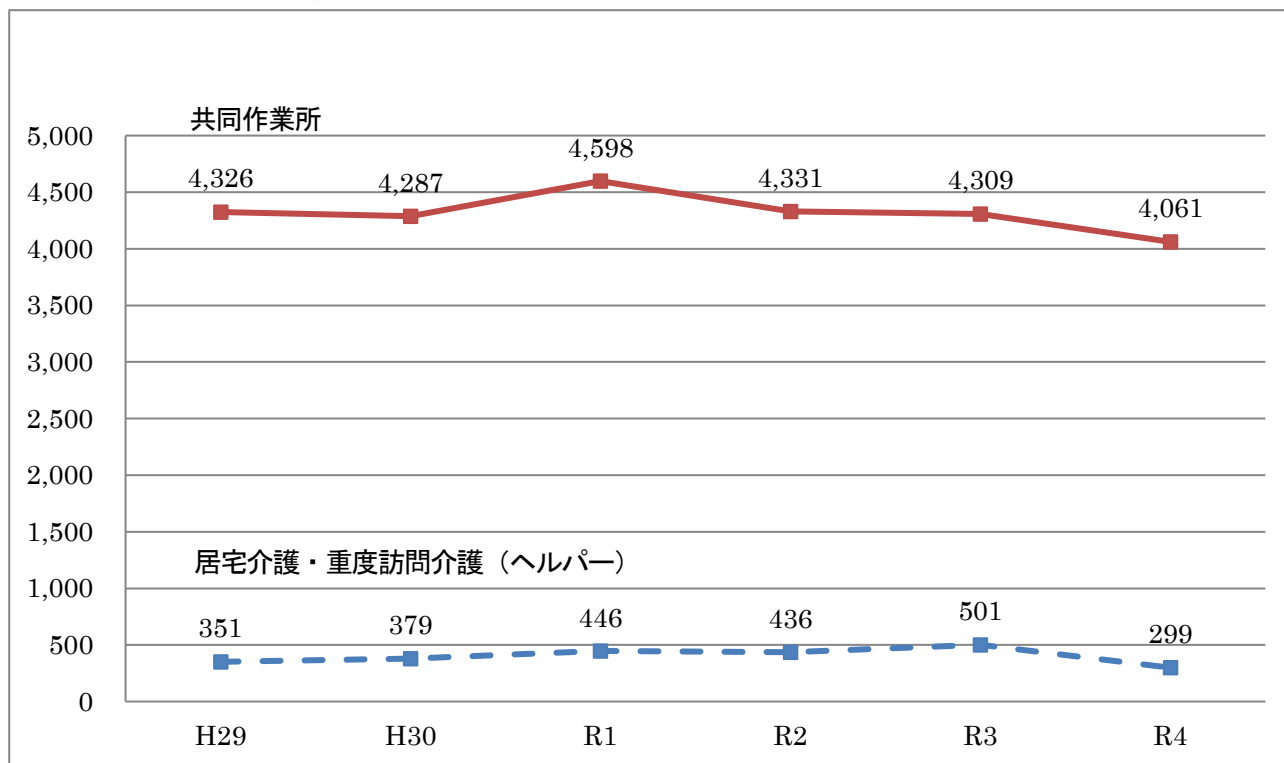
【成果・課題】

- ・長年利用されている方ばかりで新規利用者は少なく、令和3年度から班編成を5班から4班に縮小した。

【障害者福祉事業】

1 障害者自立支援事業

※利用状況の推移（単位：提供回数）



（1）居宅介護・重度訪問介護事業

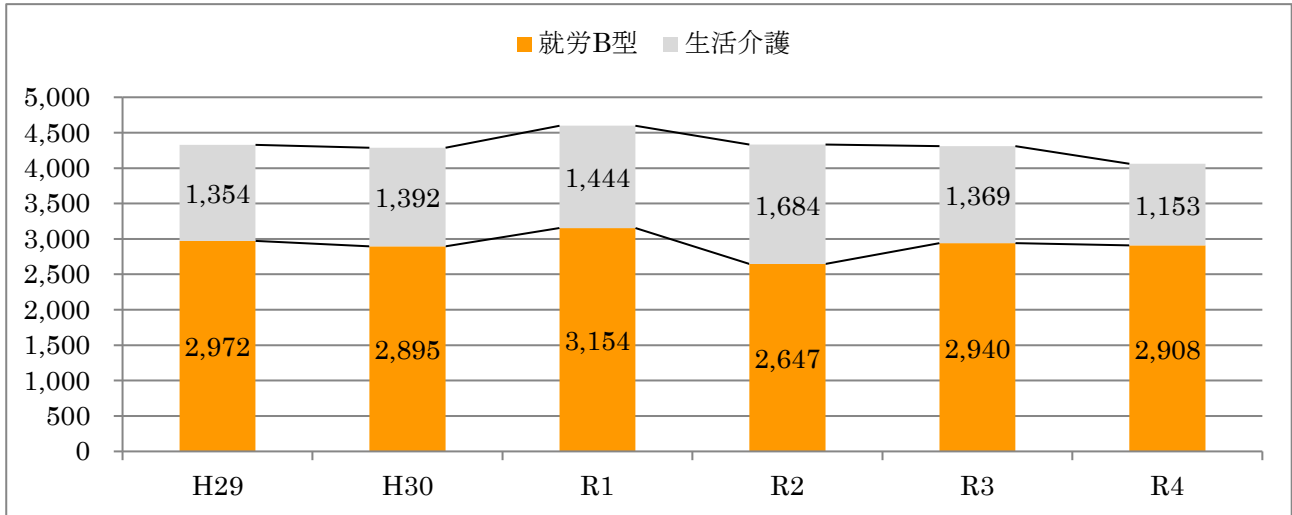
■ホームヘルパーによる在宅支援活動

延べ利用者数 (人)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
4年度	5	18	18	6	0	0	47
3年度	6	18	23	0	5	0	52
2年度	4	10	21	0	6	0	41
前年度比較	83.3	100.0	78.3	■	■	■	90.4
2年度比較	125.0	180.0	85.7	-	-	-	114.6
延べ提供回数 (回)	障害支援 区分 1	障害支援 区分 2	障害支援 区分 3	障害支援 区分 4	障害支援 区分 5	障害支援 区分 6	合 計
4年度	34	192	29	44	0	0	299
3年度	72	171	86	0	172	0	501
2年度	31	111	74	0	220	0	436
前年度比較	47.2	112.3	33.7	■	■	■	59.7
2年度比較	109.7	173.0	39.2	-	-	-	68.6

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響と自身の自立に向けて、ヘルパーの利用を断られる方があり提供回数が減少した。
- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、手指消毒・うがい等の励行を行っている。発熱症状等があれば、マニュアルに基づいた対応を行い家族や相談支援専門員と連携を図りサービス提供を行った。

(2) 障害者共同作業所運営事業



	生活介護	就労継続支援B型	合計
4年度	1,153	2,908	4,061
3年度	1,369	2,940	4,309
2年度	1,684	2,647	4,331
前年度比較	84.2	98.9	94.2
2年度比較	68.5	109.9	93.8

■利用者数（令和4年9月30日現在）

生活介護・・・・・・・・ 13名
 就労継続支援B型・・・ 38名 合計 51名

■入退所者数

入所者・・・4名
 退所者・・・3名（退所理由：他事業所利用のため、就労継続支援A型利用のため、転居のため）

■販売会

- 第56回スポーツレクリエーションフェスティバル
 日時：令和4年5月29日（日）9：00～13：20
 場所：京都府丹波自然運動公園 職員3名参加
- きのことギャザリング
 日時：令和4年7月9日（土）
 場所：グリーンランドみずほかがやき広場 職員3名参加
- まほろばライブ
 日時：令和4年8月21日（日）
 場所：滋賀県甲賀市 京の匠(株)小川様に委託し販売していただく

■作業所連絡会（月一回開催、入所判定、支所からの報告）

- 第1回 令和4年4月28日（木）
- 第2回 令和4年5月27日（金）
- 第3回 令和4年7月 1日（金）
- 第4回 令和4年8月 5日（金）
- 第5回 令和4年9月 2日（金）

■実習生受け入れ

丹波本所：男性1名 6/21, 6/22, 6/23
 瑞穂支所：女性1名 9/13, 9/16

■合同保護者会

日 時：令和4年7月7日（木）

場 所：瑞穂保健センターほほえみ

参加者：10名、OBの方2名 職員5名

内 容：作業所の現状報告、OBの方を招いて退所後の様子を紹介していただく

【成果・課題】

- ・新型コロナウイルス感染症に職員・利用者が感染し、感染拡大予防措置のため休所した期間があった。1回目5/16、2回目7/21、7/22。館内の消毒を行い、電話・訪問にて利用者の健康観察を行った。感染拡大に至らず、すぐに再開できた。
- ・町内の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、支所間の交流を控えることが多かった。生活介護の取り組みは支所ごとになりがちではあったが、リモートでの交流を試みると、利用者の方々も笑顔がみられ、今後も取り入れていきたい。
- ・各地で販売会も少しずつ開催されるようになり、直接地域の皆さんの声を聴くことが出た。利用者も販売にかかわれるように取組んでいく。
- ・昨年に引き続き、地元農家さんより農作物の袋入れ作業を受け、2年目という事で利用者も慣れた手つきで作業に携わられた。「また今年も頼りにしていた」と農家さんからも声をかけてもらい、地域との継続した関係性も喜ばしいことである。



販売会【きのことギャザリング】令和4年7月9日(土)



農家さんより依頼 【万願寺袋入れ作業】

(3) 特定障害者指定相談支援事業（相談支援センターにじ）

■目 的：障がいのある方が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等の関係機関と緊密な連携を図りつつ、利用者一人ひとりの意向、適正、障害の特性等に応じ、適切かつ効果的に支援を行う。

■内 容：ア 相談

- ・生活全般に関する相談や福祉サービス利用の意向、解決すべき課題の整理

イ 関係機関との調整

- ・利用者が複数のサービスを利用する際、共通した支援目標を示すことで同じ方向性に向けたサービスの提供を図る
- ・利用者に関わる機関の役割分担やネットワークの強化

ウ サービス利用計画の作成

- ・利用者のサービス利用計画を作成する上で生活に対する意向を確認し、総合的な支援の方針やサービスの目的の明確化を図る
- ・サービスの提供が本人の意向に沿ったものとなっているか、また、新たな目標や身体状態の変化、計画の達成、サービスの種類、内容、支給量を定期的に確認する

■実績

	計画相談支援	依頼・相談	契約	計画書作成	モニタリング作成
4年度	26	7	6	5	6
3年度	53	6	4	20	31
2年度	30	10	9	20	9
前年度比 (%)	49.1	116.7	150.0	25.0	19.4
2年度比 (%)	86.7	70.0	66.7	25.0	66.7

【成果・課題】

- 関係者間での情報共有（連携）や利用者（ご家族）との良好な関係性の構築によって、適切な福祉サービス利用調整を提供。行政や関係機関からの依頼によって契約件数が増えている中、困難ケースなどの長期にわたる対応や、地域資源の構築と利用者が満足のいくサービス量の確保と調整に課題がある。

●ひきこもり等居場所づくり支援事業（にじの家）

- 目的：ひきこもり状態の方やその家族が気軽に利用できる居場所を開設し、当事者等からの相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、関係機関と連携を図り、地域における自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

■内容

(1) 居場所「にじの家」の開設・運営

当事者が自宅以外で過ごせる居場所として「にじの家」を開設する。当事者やその家族の社会的孤立を解消し、自宅以外で落ち着いて過ごせる空間としての「居場所」を運営する。また、必要に応じて専門機関と連携するなどの相談窓口機能も担う。

(2) 「当事者の会」と「家族の会」によって、それぞれのニーズを汲み取る

当事者と家族を分けず、「〇〇の会」と案内し、内容ごとに選べることで参加しやすいように促す。ニーズに合わせた柔軟な活動内容提供により、利用しやすい環境を心掛け、創作活動や家族交流会、中間的就労支援等、当事者の希望に応じながら柔軟に対応していく。

(3) 自宅訪問によるアプローチ

関係者や地域住民、当事者家族に、居場所「にじの家」の活動内容の周知、浸透の促進をはかる。家族と連携しながら、当事者の方へのアプローチを試みていく。

■利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
〇〇の会	3 (13)	3 (10)	3 (10)	3 (8)	3 (9)	3 (9)

※実施回数（延べ参加人数）

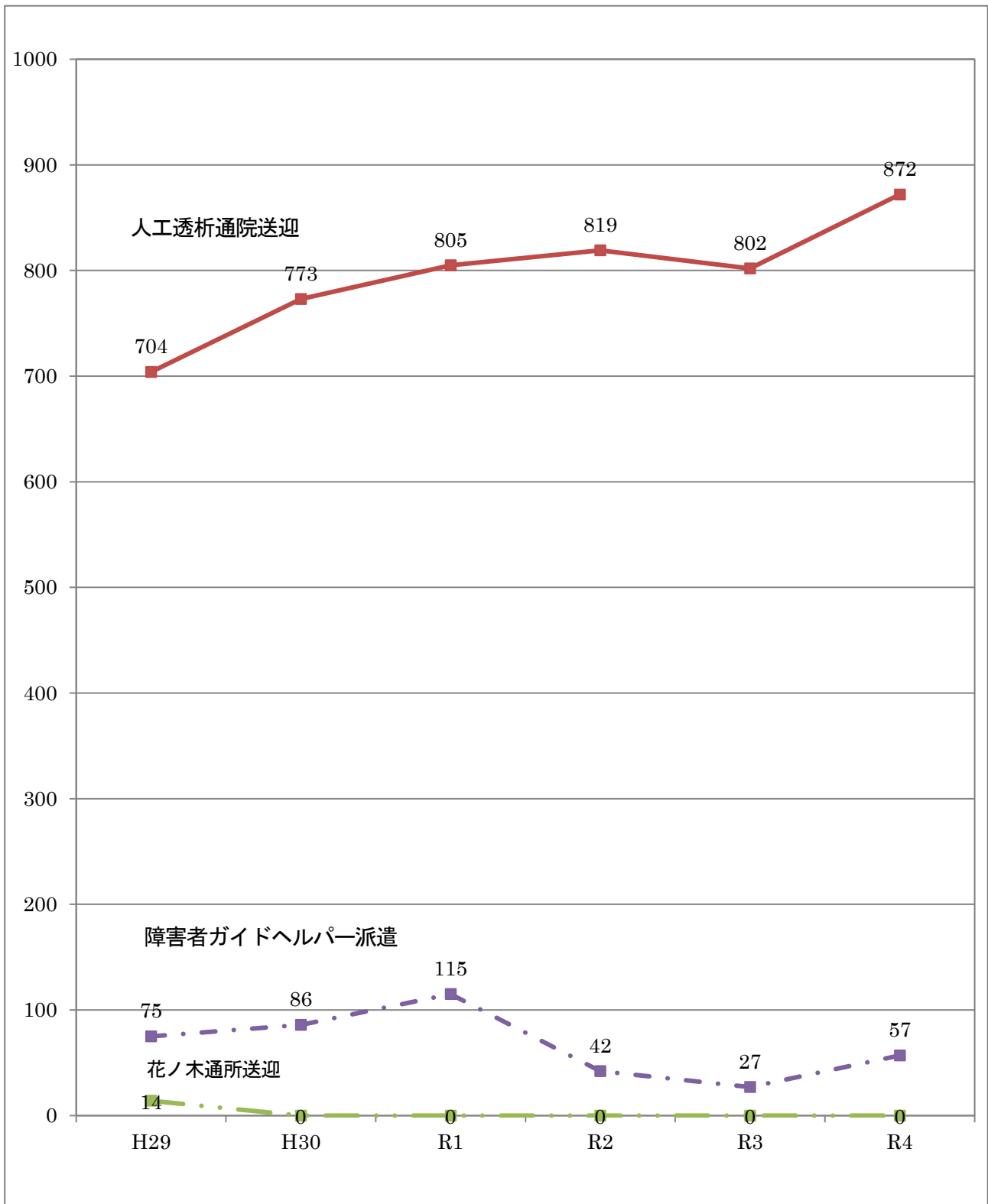
【方向性・課題】

- 当事者や家族の声を聴きながら、毎月の取り組み内容を検討している。圏域の研修等を通して、関係機関との連携も確立しつつある中、アウトリーチ支援の進捗状況に課題があり、関係機関との連携もより一層求められている。

2 障害者等生活支援事業・・・京丹波町委託事業

※利用状況の推移

- ・人工透析通院送迎（延べ提供回数、単位：回）
- ・障害者ガイドヘルパー派遣（延べ提供回数、単位：回）
- ・花ノ木通院送迎（延べ提供回数、単位：回）



(1) 重度心身障害児・者通院通所事業

①人工透析通院送迎

- 対象者：人工透析患者
- 内 容：人工透析のための通院送迎
- 提供者：運転手・介助員

延べ利用者数 (人)	瑞 穂 発 (R9)	和 知 発 (R27)	合 計
4年度	74	31	105
3年度	68	22	90
2年度	67	29	96
前年度比 (%)	108.8	140.9	116.7
2年度比 (%)	110.4	106.9	109.4
延べ提供回数 (回)	瑞 穂 発 (R9)	和 知 発 (R27)	合 計
4年度	471	401	872
3年度	471	331	802
2年度	471	348	819
前年度比 (%)	100.0	121.1	108.7
2年度比 (%)	100.0	115.2	106.5

【成果・課題】

(瑞穂発便)

- ・新規利用者が増え、車両の関係から利用日を変更いただくことで対応が出来た。
- ・利用者の増加、送迎対応地区も広範囲となっており更に利用者が増えた場合、現在の体制で対応することが難しくなる。
- ・新型コロナウイルス感染症予防として、車両の消毒、利用者の検温や手指消毒は継続している。

②花ノ木通所送迎

- 対象者：重度心身障害者で療育通所利用者
- 内 容：花ノ木地域療育施設通所送迎
- 提供者：社協外出支援運転手

※現在の利用なし。

(3) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

	延べ利用者数 (人)	延べ提供回数 (回)
4年度	28	57
3年度	18	27
2年度	22	42
前年度比 (%)	155.6	211.1
元年度比 (%)	127.3	135.7

【成果・課題】

- ・ガイドヘルパーの高齢化や体調不良などにより、今後受諾できる件数や時間などに制限が増える懸念がある。

【児童福祉事業】

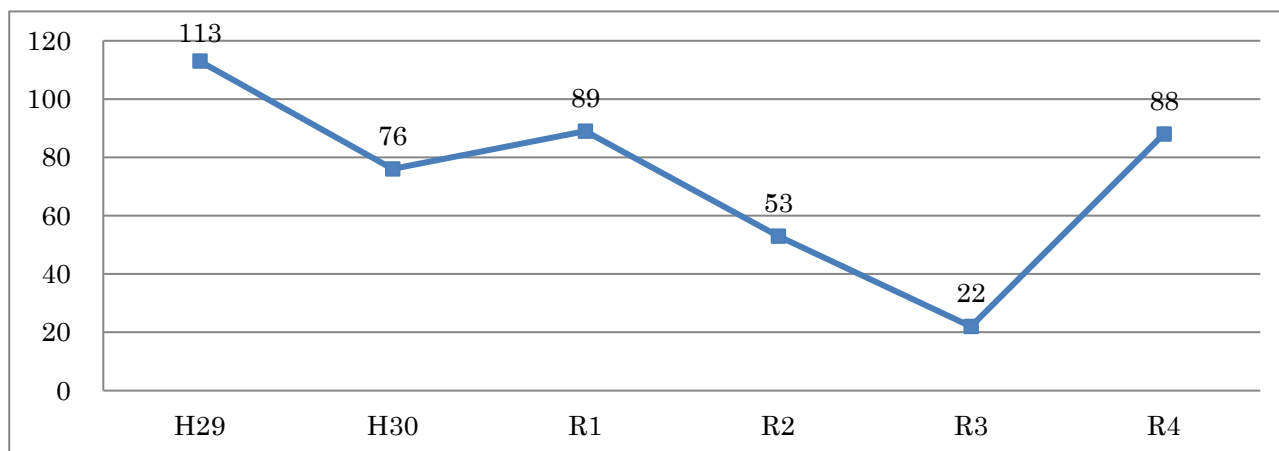
1 ファミリー・サポート・センター事業・・・京丹波町委託事業

■各会員登録状況（9月末）

会 員 名	会員数	前年度
おねがい会員（依頼会員）	64	62
あずかり会員（提供会員）	47	47
両 方 会 員	22	21

■活動実績・・・調整状況（9月末）

活動内容	回 数	備 考
訪問・面談	13	活動説明、会員登録のための面談及び自宅訪問
マッチング	9	事前の顔合わせ、情報共有等
支援活動	88	自宅預かり、保育所送迎、習い事への送迎など



【成果・課題】

- ・利用料の改正を行い 30 分未満の活動に対して、これまでの 1 時間未満の利用料の半額とすることで新たに整備した。
- ・預かりの依頼は減ってきているが、放課後児童クラブの送迎の依頼は少しずつ増えてきている。
- ・町の母子事業や子育て支援センターに出向き、ファミサポ事業の周知を行った。
- ・提供会員のためのフォローアップ講習会「交通安全教室」を実施。安心安全な活動のために今後も継続していきたい。

【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行

京丹波町社協の広報紙として年に4回(季刊誌)、全戸配布で発行。法人の基本理念や事業計画・予算、事業報告・決算の情報をお伝えし、社協事業や災害対策などについての情報発信も行った。

また毎号において共同作業所ニュース、ファミリー・サポート・センターのお知らせを掲載し、障害者福祉、子育て情報についての広報も行った。赤い羽根共同募金・日本赤十字社活動資金など募金活動についての取り組みや、社協・共同作業所に寄付いただいた寄付者の掲載も行っている。

NO	発行日	内容等
59	令和4年4月号	・職員配置図 ・赤十字運動・共同募金のお知らせ ・『わっか便』 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・在宅福祉課よりお知らせ ・作業所 NEWS ・ファミサポ・新型コロナ特例貸付 社協会費・寄付お礼
60	令和4年6月号	・令和4年度事業計画・予算 ・社協事業紹介 ・社協会員入会のお願い ・京丹波町災害ボランティアセンター ・『わっか便』 ・在宅福祉課よりお知らせ ・にじの家 ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所 NEWS ・寄付お礼・税制優遇措置のご案内
61	令和4年9月号	・令和3年度事業・決算報告 ・新役員・新評議員紹介 ・令和4年度共同募金運動・年末買物支援助成事業 ・中畑ビジョン会議 2022 ・京丹波町災害ボランティアセンター ・社会福祉体験学習 ・ ・在宅福祉課よりお知らせ ・ファミリー・サポート・センターよりお知らせ ・作業所 NEWS ・寄付お礼・税制優遇措置のご案内

【成果・課題】

- ・今年度、初めて社会福祉実習のプログラムに広報紙づくりの項目を入れ、社会福祉士実習に来た学生と一緒に掲載記事の内容の検討から始め、実際に記事を作り掲載した。内容としては、実習報告となった。
- ・これまでの課題としては、個人や団体の活動の紹介等、地域活動が記事に取り上げられていないところであった。一部活動を掲載することができたが、コロナ禍で地域に出向くことが難かったため、十分取り組めたとは言えない。

(2) Facebook (フェイスブック) での情報発信

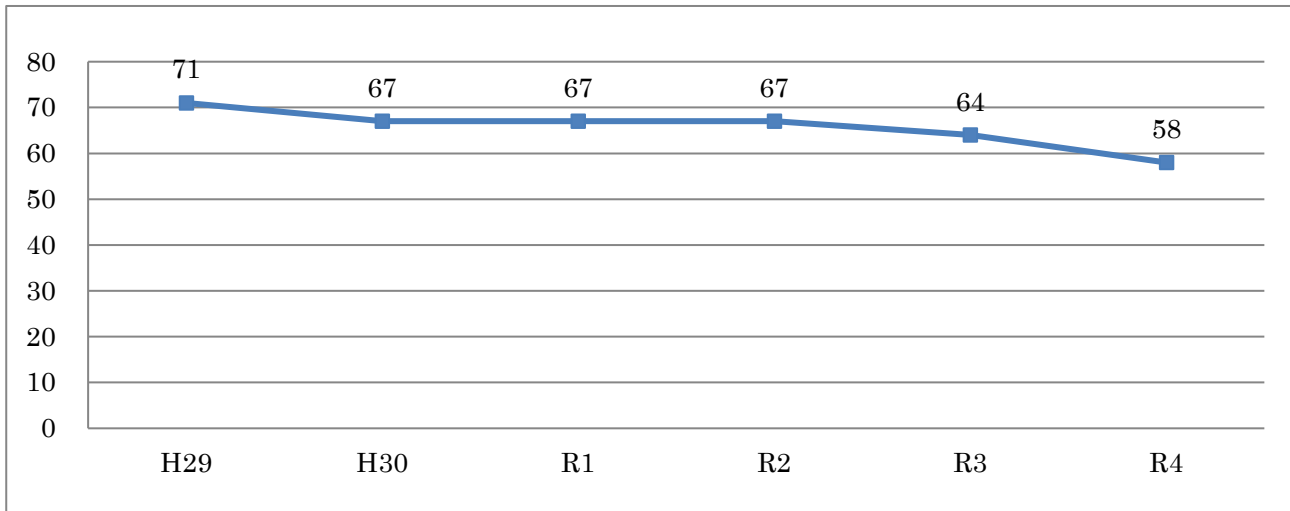
京丹波町社協の事業に関する情報や町内の地域福祉活動の取り組み等について、迅速に情報提供することを目的にFacebook (フェイスブック) による情報発信を行う。

①投稿実績 28回

2 地域で安心した生活を送るために・・・“つながり”を大切に活動の展開

(1) ふれあいいいききサロン活動の展開

① ふれあいいいききサロン各地区の設置状況



	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
令和4年度	23サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	27サロン 広域サロン1を含む	社協登録8サロン 広域サロン1を含む	58サロン
令和3年度	28サロン 障害者サロン1 広域サロン1を含む	27サロン 広域サロン1を含む	社協登録9サロン 広域サロン1を含む	64サロン

【成果・課題】

- ・コロナ禍(2年間)によって感染予防のため活動が出来ず解散されたサロンや、参加対象者の方が施設入所等で減少し、活動が出来ないとして解散にいたったサロンがある。
- ・令和4年度に入り、少しずつ参集して活動されるサロンが増えてきたことと、情報発信し集まることを躊躇している地域にも伝え、再開するきっかけとしていきたい。

(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

項目 / 地区	丹波	瑞穂	和知	合計
上半期活動回数	25	16	37	78
前年度実績	25	25	31	81
延べ訪問回数	19	11	31	61
前年度実績	19	21	25	65
訪問対象件数	6	13	6	25

前年度実績	9	15	6	30
サークル員数	5	4	7	16
前年度実績	6	4	7	17

【成果・課題】

- ・活動者と利用者との良い関係性が築けている。利用者の困りごとなど定例会で確認し、解決に繋げる事が出来ている。
- ・活動者が増えていないので、傾聴講座を開催し啓発も行っていきたい。

(3) 絆ネット支援事業・・・京丹波町委託事業

地域住民や事業所の方々が、日常生活や業務の中で異変や困りごとに気づいた時に、社協へ連絡していただくことで関係者が状況確認を行い、より多くの目で地域をさりげなく見守る活動を行う。

■京丹波町見守りネットワーク事業協力事業所登録数 **64事業所**

■通報件数 **2件**

3 住民参加の地域福祉推進事業

(1) 社会福祉体験学習事業の実施

■対象 … 京丹波町在住の中学生・高校生を対象に実施

■内容 … 福祉施設等での体験を通じて福祉活動を学ぶことを目的に実施

開催日	内 容	参加人数
8月1・2・3日	みずほ保育所（中学生）	1名
中 学 生 参 加 者 合 計		1名
高 校 生 参 加 者 合 計		0名
参 加 者 合 計		1名

【成果・課題】

- ・令和2、3年度はコロナ禍で実施できなかったが、今年度は事前に事業所に受け入れを確認し、生徒の体験前・体験中の体調チェック等の感染予防対策を行うことで実施できた。
- ・実施できた1名の他に2名の申し込みがあったが、新型コロナウイルス第7波の影響もあり中止となった。中止となった内の1名は、事業所との間で冬休み中に実施できるよう調整中である。

(2) デイサービスキッズボランティア体験学習の実施

■対象…町内小学生・中学生

■内容…中高生の福祉体験学習を実施する中で、子どもたちの福祉離れを感じることもあり、小学生からの福祉に触れ合うきっかけ作りの場を目的として実施。

※令和4年度上半期はコロナ禍のため開催中止

【ボランティア振興事業】

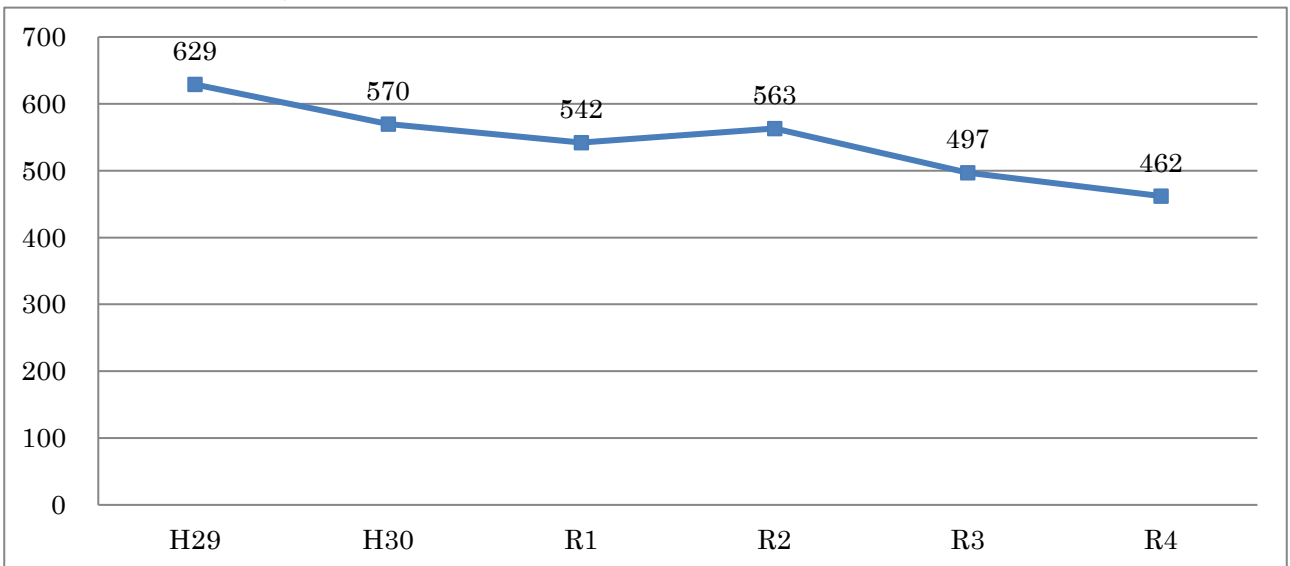
1 ボランティア活動の推進

様々なボランティア活動等を通じて住民が地域の実情を知り、自身が地域で果たす役割を「やりがい」や「生きがい」を感じていただくことで、支え合い意識や価値観の醸成、地域リーダーの育成につながるものとして推進する。

■ボランティアバンク登録状況（単位：人）

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	0	2	4	1	8	9	24
	女	0	0	5	10	43	109	167
	計	0	2	9	11	51	118	191
瑞穂	男	0	0	0	1	0	15	16
	女	0	0	1	5	21	90	117
	計	0	0	1	6	21	105	133
和知	男	0	0	0	2	1	10	13
	女	0	0	1	7	29	88	125
	計	0	0	1	9	30	98	138
合計		0	2	11	26	102	321	462
3年合計		26	10	19	28	113	329	497

■登録者数の推移（単位：人）

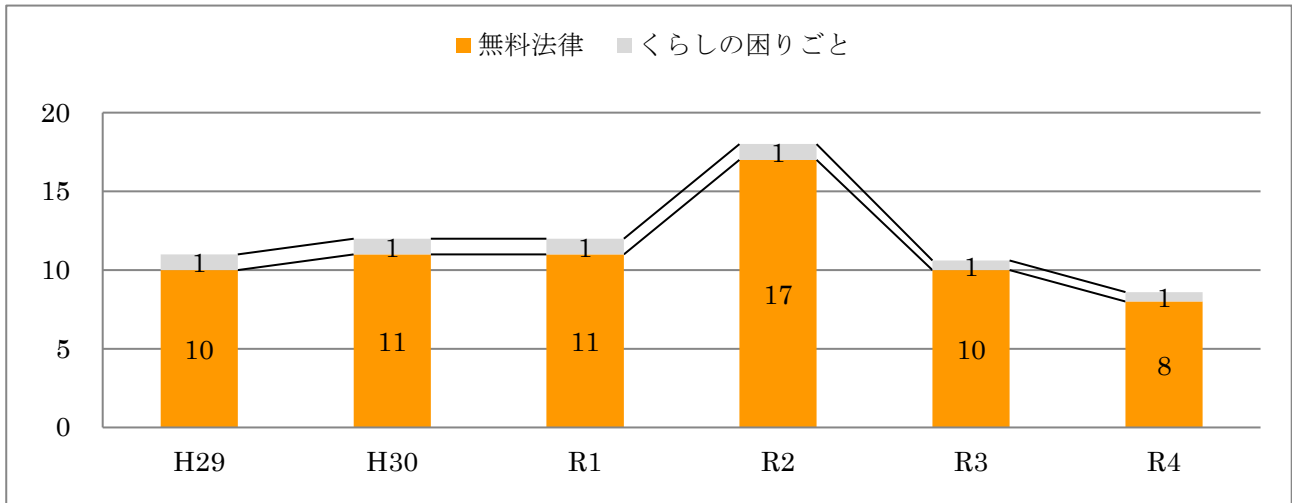


【成果・課題】

- ・コロナ禍によりサークル活動を自粛されたことで、ボランティアを辞められる方が増えている。
- ・一方で、ボランティアバンク登録ではないが、フードバンクやかがやき活動への協力者は増えており、新たな支え合いや地域福祉への関心は高まっていると考える。

【厚生福祉事業】

1 暮らしの困りごと相談所（心配ごと相談事業）



暮らしの困りごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
和知	4月13日	1	瑞穂	4月4日	4
丹波	5月9日	0	丹波	5月9日	2
瑞穂	6月8日	0	和知	7月4日	1
和知	7月13日	0	瑞穂	8月1日	1
丹波	8月17日	0			
瑞穂	9月7日	0			
合計		1件	合計		8件
3年度実績合計		1件	3年度実績合計		10件

【成果・課題】

- ・今年度は2名の弁護士が各会場を交代で担当されている。
- ・日程の都合で本会主催の無料法律相談の利用ができない方には、近隣で開催される法律相談（南丹広域振興局主催の法律相談、京都司法書士会主催の登記・法律・多重債務相談等）を紹介している。

2 福祉資金貸付事業

低所得世帯や障害者・高齢者が属する世帯を対象に、その世帯の状況・必要性に応じて無利子または低利で資金の貸し付けを行う事業。

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	町外転出	転入	合計
生活福祉資金貸付	0	0	0	0	0	0
暮らしの資金貸付	0	0	0	0	0	0
特例貸付【緊急小口】	3	3	3	1	0	10
特例貸付【総合】	3	3	2	1	1	10
【総合・延長】	—	—	—	—	—	—
【総合・再貸付】	—	—	—	—	—	—

【成果・課題】

- ・生活福祉資金について、過去に借用されていた方が元本と貸付利子を償還完了され、延滞利子免除の相談があり、町貸付審査会・京都府社協に諮り免除が決定された。
- ・新型コロナウイルス感染症に関連して生活福祉資金の特例貸付が9月末で新規受付を終了した。

3 総合相談事業

(1) 相談受付内容

金銭関係	介護等相談	書類等手続き	その他	合計
19	4	0	5	28
(うち障害者) 7	(うち障害者) 1	(うち障害者) 0	(うち障害者) 0	(うち障害者) 8
			仕事が無い、生活不安、安否確認、引きこもり	

(2) 相談対応結果

他機関紹介	多職種連携対応	社協事業対応	その他	合計
4	10	7	7	28
南丹保健所就労相談、弁護士、町住民課	役場福祉支援課、町内自動車店、包括支援センター、自治会役員、弁護士、南丹保健所、道の駅	生活福祉資金、地権事業、相談支援専門員、無料法律相談、成年後見相談	役場と調整、制度説明、様子を見る、傾聴	

【成果・課題】

- ・相談支援係として、地域のさまざまな相談対応を行っている。相談の詳細は記載できないが、金銭関係の相談がもっとも多く入った。多重債務や借金などに関する相談が多かった。また、今年度は、初回から何度も継続して対応するケースが多かった。

4 食料支援事業…フードバンク「わか便」【新規】

生活困窮等で支援を必要とされる世帯に対し、町内の事業所や住民から寄贈いただいた食材等を提供する。

	提供世帯数	ご寄付いただいた食材等
第1期（4月実施）	17世帯	お米（188 kg）、食材等（515点：インスタント食品、レトルト食品、缶詰・瓶詰、日用品等）
第2期（7月実施）	25世帯	お米（363 kg）、食材等（935点：インスタント食品、レトルト食品、缶詰・瓶詰、日用品等）

■町内の事業所のご協力



(株) 創味食品丹波工場 様



石井食品(株) 様



FamilyMart 様 回収ボックス



提供内容例

【福祉関係組織活動支援】

1 日本赤十字社活動資金

項目	丹波	瑞穂	和知	合計
活動資金募金額	620,701	477,219	419,350	1,517,270

2 京丹波町老人クラブ連合会

京丹波町老人クラブ連合会と丹波・瑞穂・和知それぞれの支部活動を支援するため、事務局機能を担っている。

【災害支援活動と災害ボランティアセンター活動】

1 研修・講座・訓練・会議等

研修名	開催日	内容
出前講座	6月8日	実勢区サロン
職員研修	6月19日	社協職員災ボラ訓練
出前講座	6月23日	水呑区サロン
出前講座	7月16日	妙楽寺サロン
出前講座	7月29日	橋爪区サロン

【成果・課題】

- ・サロンに出向き地域住民に向けて、防災学習が出来たことは良かった。京丹波町内は被害が少ない地域であるため、住民の避難意識や防災意識が薄いように感じる時もある。引き続き、広報紙や出前講座にて広報していきたい。
- ・職員研修では、新しい職員に経験してもらう事を念頭に置き、また、南丹ブロック(亀岡市社協・南丹市社協)との関係性も築けたことから、いざというときには協力して迅速に対応できるようにしていく。



出前講座 (実勢区サロン)



出前講座 (妙楽寺サロン)